

# グループごとの話し合い

## ー市民から市民への21の提案ー

R6年7月22日（月）

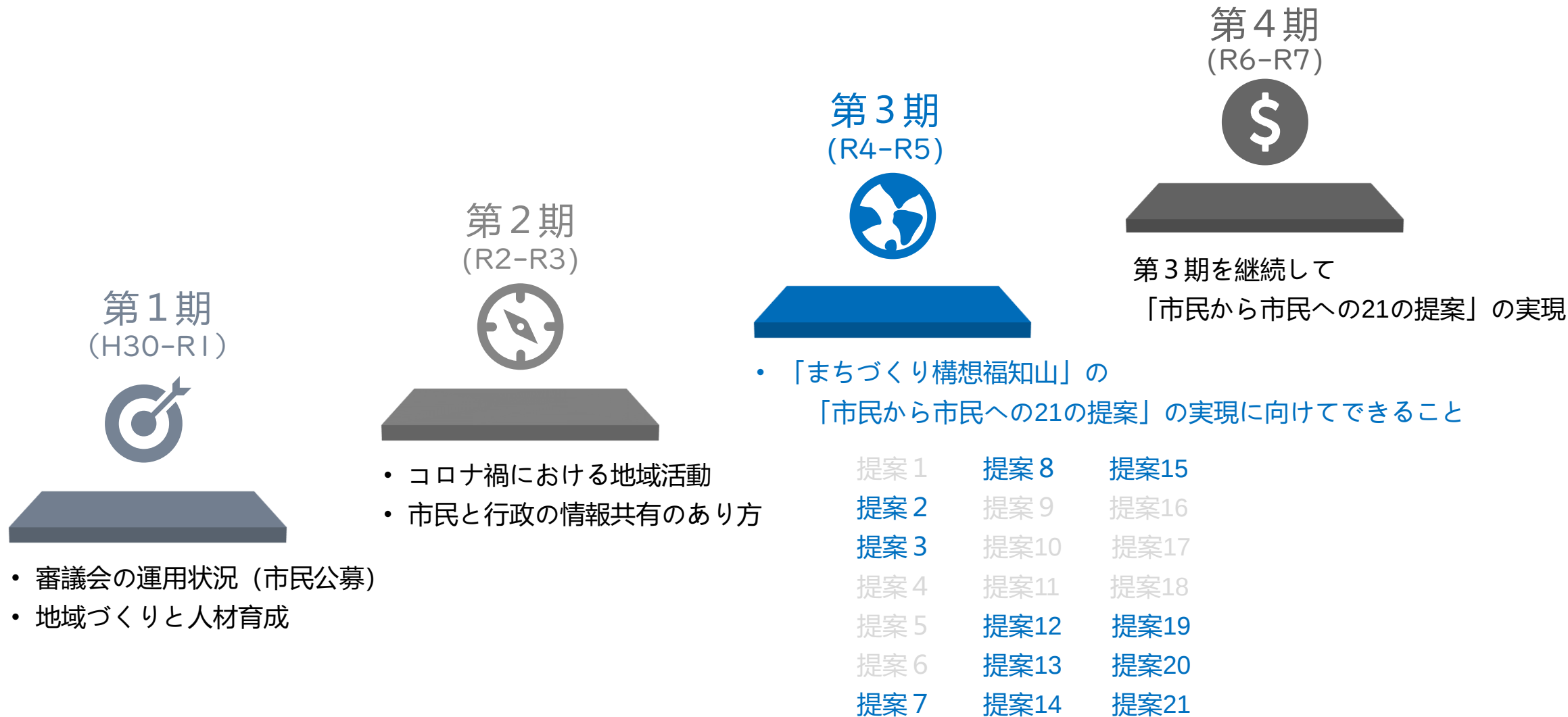
福知山公立大学

地域経営学部 木村昭興

# 01

## 第3期推進委員会の取組 (市民から市民への21への提案)

# Ⅰ－Ⅰ 第3期推進委員会の取組



## Ⅰ－２ ２１の提案を実現するための具体策（第３期）

### 提案内容及び検討内容

提案１ 生活実感を入り口に、地域のことを「自分ごと」として、考えるきっかけとなる対話の場をつくろう

提案２ 学校だけではない学びの場をつくり、「生きる力」と「困難に対するしなやかさ」を育もう

・元教師のスキルやノウハウを活かしたフリースクールや学校と家庭をつなぐ中間支援が必要。

提案３ 「子育ての話」を気軽にでき、先入観や「あるべき論」にとらわれず、一人ひとりの個性を生かした子育てができる環境をつくろう

・不登校等に悩む保護者が行政の窓口にいきなり相談に行くのは勇気があることなので、気軽に話すことができる場があれば救いになる。

提案４ 障害のある人や様々な悩みを抱え孤立しがちな子どもや家族に市民どうしが互いに関心を持ち、手を差し伸べ、誰も孤立させない環境をつくろう

## 1-2 21の提案を実現するための具体策（第3期）

### 提案内容及び検討内容

提案5 学び続けたい大人たちが、互いに学び合い、教え合う環境をつくり、地域の課題を自ら解決できるコミュニティをつくろう

提案6 動画やデジタルを活用した「ICT教育」を推進し、一人ひとりの状況にあわせたきめ細やかな学びを実現させると同時に、生きる力を集団で学ぶ、成熟した学びをつくっていかう

提案7 福知山市の自然やコミュニティの中でしか体験できない思い出をたくさん作ることで、「心の豊かさ」を育むとともに、世界に向けて「発信したくなる気持ち」を育てよう

- ・コミュニケーションツール「Slack」において、地域の人知らないコアな情報を発信するスペース「ふくしる」を開設。この市ペースを活用して市民自らが情報発信し、市民同士がつながる仕組みをつくる。

提案8 子育てを地域全体でサポートすることで働く人が住みやすいまちをつくろう

- ・学校以外の学びを主体的に取り組む力を求められているので、そういう学びの場を地域に求める。

## Ⅰ－２ ２１の提案を実現するための具体策（第３期）

### 提案内容及び検討内容

提案９ 多様な働き方、働く目的にこたえる“しごと”と“人”をつなぐ仕組みをつくろう

提案１０ 福知山市に住みたい希望をかなえられる働く場の確保を大学や企業とも連携しながら、実現していこう

提案１１ 意欲ある起業家や地域を支える経営者の挑戦と創意工夫を、まちぐるみでサポート、育成していこう

提案１２ 福知山市の魅力、強みを生かして、儲かる観光業、農林畜産業をめざして盛り上げよう

- ・ 市民出資による資金で農作物を育てる。
- ・ 観光地の交通手段確保のため、観光地同士をつなぐバスを運行する。
- ・ 福知山市在住外国籍の方への聞き取りや市民からの募集により市民が訪日外国人客に向けた体験型周遊プランを作成する。

提案１３ 福知山市の歴史、自然、文化などの魅力を日本中、そして世界においてアピールしていこう

- ・ 行政だけではなく、さまざまな立場の人がSNS等で情報発信し、福知山市の魅力をPRする。

## Ⅰ－２ 21の提案を実現するための具体策（第3期）

### 提案内容及び検討内容

提案14 担い手が少なくなってきた時代に対応し、自治会などの活動を見直し、開かれた運営を行っていかう

提案15 「やらなければならない」地域活動から、「やりたい人がやりたいことをやる」地域活動へ変えていかう

- ・自治会の中で自治会員が自発的な活動を応援する。
- ・わがまち自慢や取組み事例を発表する機会を作り、情報交換を進める。
- ・世帯から代表してではなく実行委員会形成にし、できる人ができることをやる。
- ・複数自治会で連携する取組の検討を行う。
- ・気軽に参加でき、話ができる機会を作るなど楽しみを共有する場を作る。
- ・先進的な取組を行う自治体を紹介する察しを作成し配布する。

提案16 自動車がなくとも、買い物や通院に支障なく生活ができる工夫、仕組みを作ろう

提案17 身近な場所に拠点をつくり、様々なサービスを「行く」から「来る」に転換しよう

提案18 医療や介護をできる限り必要とせず、健康で生き生きと長生きする「健康長寿」をめざそう

## Ⅰ－２ ２１の提案を実現するための具体策（第３期）

### 提案内容及び検討内容

提案１９ 一人ひとりが楽しみながら、様々な場で力を発揮することができる環境をつくろう

- ・地域の繋がりをもつために、地域行事に参加してもらう機会をいかに増やすかを考える。

提案２０ 一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな相談、支援をできる体制を、地域包括支援センターを中心につくろう

- ・地域包括ケアセンターの認知度を高めるために、チラシを作成するなどの広報を行うとともに、日頃から地域の人同士のつながりを深める取組を行う。

提案２１ 独居高齢者、老々介護、介護離職など、様々な介護の事情や社会生活環境の変化をふまえ、担い手の多様化と地域での支え合いの仕組みをつくろう

- ・地域を超えた集まり、つながりの場の創出やリーダーや役を作らない新しい集まりの場の運営の創出を図り住民全体で支え合う地域をめざす。

別 班 市民の参画の状況把握及び改善をすすめよう

【目指す未来像】主体的にまちにかかわる市民が増えていくまち

【まず取り組むこと】多くの市民、市議会、市の執行機関に自治基本条例の理解を深める取組

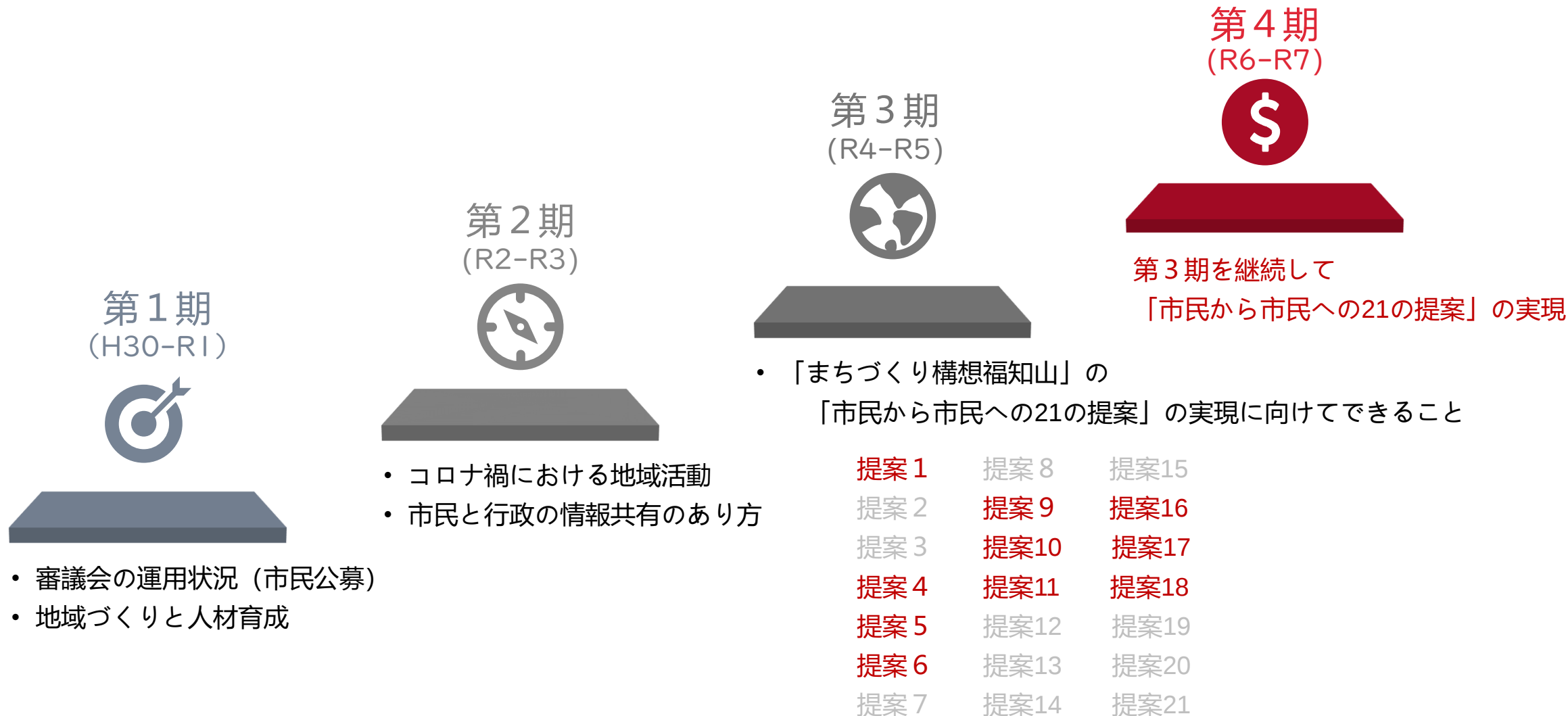
【主要なターゲット層】次世代を担う、若い世代

【アプローチ方法】世代ごとに、アプローチ方法を変える必要がある。

# 02

## 第4期推進委員会の進め方 (市民から市民への21への提案)

## 2-1 第4期推進委員会の取り組むこと



## 2-2 グループワークの進め方（第3期第1班）

提案7 福知山市の自然やコミュニティの中でしか体験できない思い出をたくさん作ることで、「心の豊かさ」を育むとともに、世界に向けて「発信したくなる気持ち」を育てよう

「心の豊かさ」を育むや「世界に向けて」  
「発信したくなる気持ち」を育てようという  
テーマが広い。  
テーマを絞り込む必要がある。

元伊勢等、観光地として非常に魅力的。  
その魅力が伝わっていない。

地域の人々が地域の情報・文化を知る方法を  
考えていかなければならない。



SNSを活用したPRの方法を検討していくのはどうか！

## 2-2 グループワークの進め方（第3期第1班）

提案7 福知山市の自然やコミュニティの中でしか体験できない思い出をたくさん作ることで、「心の豊かさ」を育むとともに、世界に向けて「発信したくなる気持ち」を育てよう



SNSを活用したPRの方法を検討していくのはどうか！

- Slack（スラック）を活用して「地域の人知らない情報を地域の人を知る、教える」をコンセプトとした仮称『ふくしる』を立ち上げ、その中でコアな情報や自身しか知らない体験、発見を掲載することで新しいコミュニケーションの形をつくる。

⇒ 地域の情報を「発信したくなる気持ち」を育てる。

### 【メリット】

- コアな情報を掲載することで福知山に興味がある人を取り込むことができる。
- 他のSNSのように情報が流れることなく、情報がとどまりやすい。
- 市民同士、市民と市外の方でのコミュニケーションが可能
- SNSの活用により現在行っていたりする祭りの案内等の絵はがきを投稿することで広告の経費削減になる。

### 【課題】

- |                 |                                                                                 |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 「誰」が実践していくか | 土台となるSlackの運用・立上げについては、福知山公立大学生や市民の公募にて運営側の人員を行政が募集する。公募した委員で運営を行うこと。           |
| (2) ユーザー数への課題   | 広報「ふくちやま」による募集や市ホームページ等を活用し、募集を行う。ユーザーの募集だけでなく、自治会でのイベント等の発信には自治会との連携が必要と考えられる。 |
| (3) 運営の基本方針について | 発信の仕方は、高校生や大学生と一緒に考えることで若い感性を入れる必要があるため運用、立ち上げには高校生や大学生に参加してもらう。                |

## 2-3 21の提案を実現するための具体策の検討（第4期）

### 提案内容

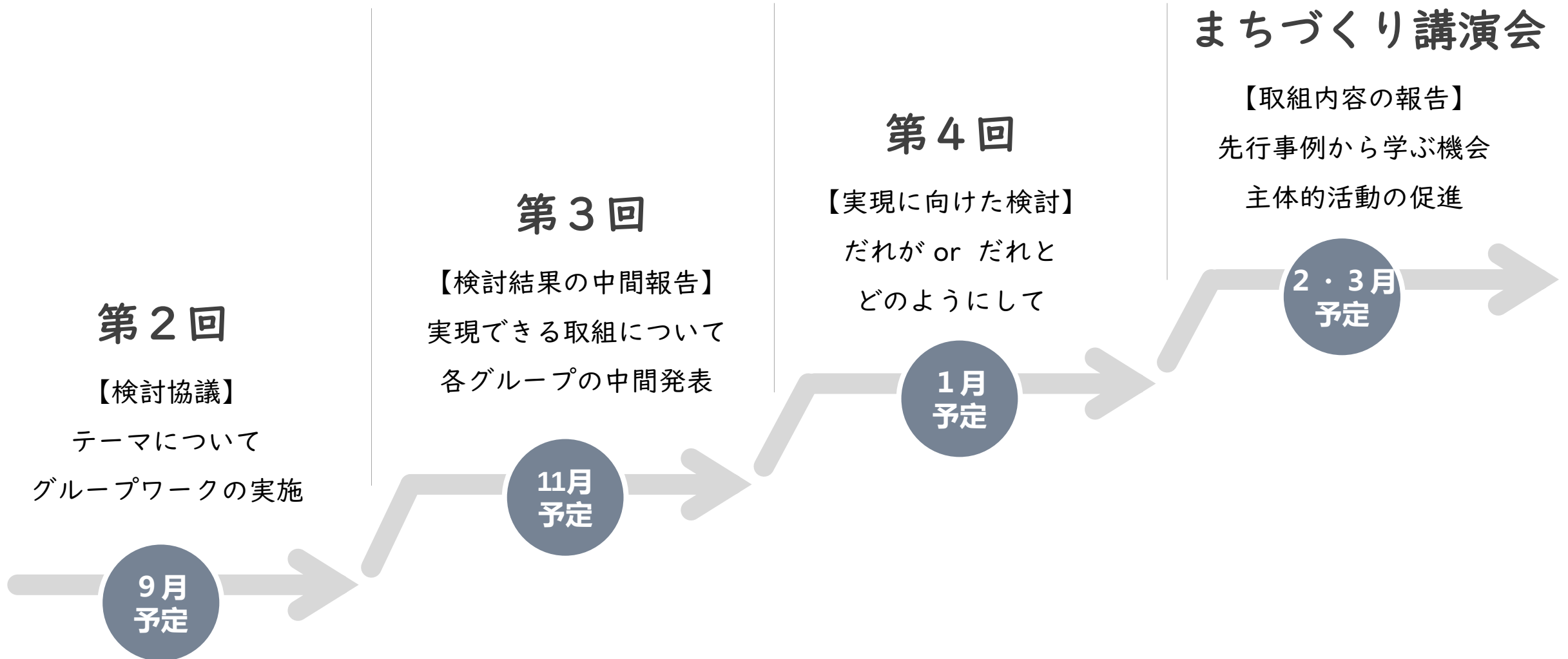
|      |                                                                                   |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 提案1  | 生活実感を入り口に、地域のことを「自分ごと」として、考えるきっかけとなる対話の場をつくろう                                     |
| 提案4  | 障害のある人や様々な悩みを抱え孤立しがちな子どもや家族に市民どうしが互いに関心を持ち、手を差し伸べ、誰も孤立させない環境をつくろう                 |
| 提案5  | 学び続けたい大人たちが、互いに学び合い、教え合う環境をつくり、地域の課題を自ら解決できるコミュニティをつくろう                           |
| 提案6  | 動画やデジタルを活用した「ICT教育」を推進し、一人ひとりの状況にあわせたきめ細やかな学びを実現させると同時に、生きる力を集団で学ぶ、成熟した学びをつくっていこう |
| 提案9  | 多様な働き方、働く目的にこたえる“しごと”と“人”をつなぐ仕組みをつくろう                                             |
| 提案10 | 福知山市に住みたい希望をかなえられる働く場の確保を大学や企業とも連携しながら、実現していこう                                    |
| 提案11 | 意欲ある起業家や地域を支える経営者の挑戦と創意工夫を、まちぐるみでサポート、育成していこう                                     |
| 提案16 | 自動車がなくても、買い物や通院に支障なく生活ができる工夫、仕組みを作ろう                                              |
| 提案17 | 身近な場所に拠点をつくり、様々なサービスを「行く」から「来る」に転換しよう                                             |
| 提案18 | 医療や介護をできる限り必要とせず、健康で生き生きと長生きする「健康長寿」をめざそう                                         |

## 2-3 21の提案を実現するための具体策の検討（第4期）

### 提案内容

|      |                                                                                   |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 提案1  | 生活実感を入りに、地域のことを「自分ごと」として、考えるきっかけとなる対話の場をつくろう                                      |
| 提案4  | 障害のある人や様々な悩みを抱え孤立しがちな子どもや家族に市民どうしが互いに関心を持ち、手を差し伸べ、誰も孤立させない環境をつくろう                 |
| 提案5  | 学び続けたい大人たちが、互いに学び合い、交流し合う環境をつくり、地域の課題を自ら解決できるコミュニティをつくろう                          |
| 提案6  | 動画やデジタルを活用した「ICT教育」を推進し、一人ひとりの状況にあわせたきめ細やかな学びを実現させると同時に、生きる力を集団で学ぶ、成熟した学びをつくっていこう |
| 提案9  | 多様な働き方、働く目的にこたえる“しごと”と“人”をつなぐ仕組みをつくろう                                             |
| 提案10 | 福知山市に住みたい希望をかなえられる働く場の確保を大学や企業とも連携しながら、実現していこう                                    |
| 提案11 | 意欲ある起業家や地域を支える経営者の挑戦と創意工夫を、まちぐるみでサポート、育成していこう                                     |
| 提案16 | 自動車がなくても、買い物や通院に支障なく生活ができる工夫、仕組みを作ろう                                              |
| 提案17 | 身近な場所に拠点をつくり、様々なサービスを「行く」から「来る」に転換しよう                                             |
| 提案18 | 医療や介護をできる限り必要とせず、健康で生き生きと長生きする「健康長寿」をめざそう                                         |
| 別班   | 市民の参画の状況把握及び改善をすすめよう                                                              |

## 2-4 各回の開催概要



## 2-5 まちづくり講演会



令和5年8月26日(土) 開演午後1時  
受付(午前12時30分より)  
会場 ハピネスふくちやま 市民ホール

～第1部～  
(講演) 株式会社南山城 代表取締役 森本健次  
「まちづくりの思いをカタチにするには」

～第2部～  
パネルディスカッション  
「市民から市民の21の提案を考える」

詳しくはこちらより

主催：福知山市  
協力：自治基本条例推進委員会  
連絡先：市長公室 経営戦略課  
地域振興部 まちづくり推進課  
TEL：0773-24-7030



### 第1部

講演：(株)南山城 森本健次氏  
「まちづくりの思いをカタチにするには」

### 第2部

- 推進委員会における21の提案実現における  
の取組報告(自治基本条例推進委員会)
- 人口13戸26人の1000年つづく毛原の里づく  
りへの挑戦(毛原の棚田ワンダービレッジ  
プロジェクト 水ロー也氏)
- 鳥取県琴浦町住民による行動
- 私達の集落に、笑顔を咲かせるために  
(六人内を綺麗にする会 小林加奈子氏)

Thanks  
ご静聴ありがとうございました

福知山公立大学 地域経営学部 木村昭興  
kimura-akinori@fukuchiyama.ac.jp